

「子ども達も先生も、地域のみんなも笑顔になる地域学校協働活動」

令和8年8月5日（水）に「地域と学校の連携・協働へ向けた研修会」を開催しました。地域学校協働活動推進員、学校運営協議会委員、教職員、学校ボランティア等、幅広い立場の方々約100名の参加をいただきました。鏡野町教委、鏡野町立南小学校の皆さんによる実践発表に続き、県地域学校アドバイザーの安田先生によるまとめをいただきました。後半は参加者がグループに分かれ、情報交換とともに学校と地域がどのように、どんな場で対話を重ね、協働活動の充実を図っていくかについて熟議を行いました。実りある研修会となりました。



「現在進行形！チーム鏡野町の推進体制」

鏡野町では地域をよく知る公民館長を地域コーディネーターとして位置づけている。活動の充実を目指して、昨年度から研修体制を整えた。各校区の取組交流をはじめ各地域に応じた持続可能な運営、新たな人材発掘、活動開拓を目指している。



【鏡野町教育委員会
生涯学習課】

日下 隆春 課長補佐



ここが
ポイント



【鏡野町立南小学校】左から

杉本 智子 校長 阿形 浩司 推進員
山田 由紀子 CN 島袋 律子 CN

「毎日が参観日！鏡野町立南小学校の地域学校協働活動」

- ・「毎日が参観日」を合言葉に、敷居を低く地域、保護者ボランティア等が参加しやすい仕組…200名規模の学校でR7年度は400名を超える支援者が参加
- ・定期的な推進委員会を開催（学校職員、推進員、活動のPDCA等）
- ・先生の働き方改革、地域の方の「やりがい」「生きがい」を目指した活動
- ・学校運営協議会（CS）と連動し、学校課題の解決を図る取組を展開
- ・地域と学校が手を取り合ってパートナーとして共育（教育）活動を推進
- ・学校をプラットフォームにした地域の方のつながりづくり

【まとめとして】

「毎日が参観日」という仕掛けが敷居を低くしている。公民館長をコーディネーターにしていることも持続可能な活動になっている。「共育」=地域と学校が共に当事者意識をもって子ども達を育てている。ケーブルTV等での活動発信が関係者の達成感にもつながっている。



【地域学校協働活動
アドバイザー】
安田 隆人氏



感想

- ・定期的な推進会議をもつなど、今より地域の方との対話の場を増やしていけたらと思う。学びの多い研修会だった。
- ・「毎日が参観日」のフレーズのような地域の皆が集まりやすい日を設定したい。
- ・中学校区の地域学校協働活動推進員の合同会議を予定している。公民館長にも参加してもらい、学校、地域、公民館が繋がりたい。
- ・音楽指導、プール学習見守り、テント設置、畑づくり等々幅広い協働活動で地域の人同士もつながっているのがすごい。
- ・校長先生、公民館長、PTA会長等、立場の違う方々との協議で、新たな視点を多くいただいた。学びが多かった。